

～ JWTBF『クラス分けの概要』～

現行のフィールドテスト項目	テスト項目の成否判定	改良Zancolli分類(※1)による区分	現行の持ち点	各クラス内における残存機能の所見	改訂版マニュアルでの持ち点	判定『O』の数	改訂版マニュアルで想定するフィールドテストでの各クラスの主な特徴
1～4	『O』が0個	～C5B	円内	Low	0.5	0個	両手でキャッチ・パス・シュートが不可能。
	『O』が1個以上～2個未満	C6A		1.0 Normal	1.0	1個から5個	両手でキャッチ・パス・シュートのいずれか、もしくは全てが可能。 肩間付近のプレイ(キャッチ・シュート)が不可能。
	『O』が2個	C6B I		High			シリンダー上部付近と上部付近左右のプレイ(キャッチ・シュート)が不可能。
	『O』が2個以上～4個未満	C6B II		1.5 Normal	1.5	6個から21個	肩間付近のプレイ(キャッチ・シュート)のいずれか、もしくは全てが可能。 シリンダー上部付近と上部付近左右のプレイ(キャッチ・シュート)の、いずれかが不可能。
	『O』が4個			Low			2.0
5	両側が『×』 片側『△』かつ他方『×』	C6B III	円外	2.0 Normal	2.0H	27個から29個	『2.0』の条件を満たしたうえで、別紙(※1)に定める残存筋力を有している。
	左右両側が『×』 又は『O』ではない			High			
	片側が『△』かつ他方が『×』ではない			2.5 Normal	3.0	手首の屈筋群を使ったプレイが、両側とも可能。	
	左右両側共に『O』			C7A			Low
				C7B	Normal		
C7B		High					
6	左右両側が『×』 又は『O』ではない	C8A	上	3.5 Normal	3.5	手指の機能を使ったプレイが可能で、持ち点3.5の『テスト項目の成否判定』の内容に該当する。	
	片側が『△』かつ他方が『×』ではない			High			
	左右両側共に『O』			C8B I	Low	4.0	手指の機能を使ったプレイが、両側とも可能。
				C8B II	Normal		
		High					

(※1)自立支援局伊東重度障害者センター 森野らによる

- ◎ ストラップ・手袋・テーピング・ハンドリム被覆については、クラス分け・再チェック等の際にチェックシートと持ち点カードに詳細を記載する。
※記載内容:ストラップ…装着部位・素材・伸縮性, 手袋…素材・伸縮性, テーピング…装着部位
ハンドリム被覆…素材
- ◎ ストラップ・手袋・テーピング・ハンドリム被覆の変更については、その都度申請の必要はない。
※ゲームチェックで当該選手の能力と持ち点に疑義が生じた場合には、再チェックを行う。
- ◎ 競技用車椅子は承認を受けたものを使用することとする。
※持ち点カードの裏側に、承認シールを張り付ける。
競技用車椅子を変更する際には申請が必要となる。
※申請受理後にゲームチェックを行い、当該選手の能力と持ち点に疑義が生じた場合には再チェックを行う。

～ JWTBF『クラス分けの概要』～

◎改良Zancolli分類表(※1)

	上腕二頭筋	腕橈骨筋	長短橈側手根伸筋	円回内筋	上腕三頭筋	橈側手根屈筋
C4レベル	0～2					
C5A	3～5	0～2				
C5B	3～5	3～5	0・1			
C6A	3～5	3～5	2～3			
C6B I	3～5	3～5	3+～5	0～2		
C6B II	3～5	3～5	3+～5	3～5	両筋0～2、あるいは一方の筋3～5※	
C6B III	3～5	3～5	3+～5	3～5	3～5	

クラス/筋名	4・5指伸筋群	2・3指伸筋群	母指伸筋群	4・5指屈筋群	2・3指屈筋群	母指屈筋群 母指球筋	浅指屈筋
C7A							
C7B			2～3				
C8A	3～5						
C8B I		3～5	3+～5	3～5			0～2
C8B II					3～5	2～3	3～5

(※1)自立支援局伊東重度障害者センター 森野らによる

- ◎ 2.0点に判定されたプレイヤーは、以下の条件に基づいて『2.0N(ノーマル)』・『2.0H(ハイ)』の2つのカテゴリーに分類する

『2.0N』となるもの

- ①上腕三頭筋において、左右の和が『4以下』または片側が『3以下』
- ②『①』の条件に加え、手根屈筋において、左右の和が『5以下』または片側が『3以下』

『2.0H』となるもの

- ①上腕三頭筋において、左右の和が『5以上』または片側が『4以上』
- ②手根屈筋において、左右の和が『6以上』または片側が『4以上』
- ③手根屈筋において、左右の和が『4以上』または片側が『3以上』で、円回内筋と大胸筋の合計が『18以上』
※現時点では3条件(上腕三頭筋の評価・手根屈筋の評価・手根屈筋と円回内筋+大胸筋の合計値)での評価